

## 当期の概況（連結）

---

当中間期の連結売上高は前中間期比12.2%増の2,813億円、連結営業利益は前中間期106億円の損失から67億円改善し39億円の損失となりました。連結経常損益につきましても前年同期158億円の損失から76億円改善し82億円の損失となりました。

連結中間純損益につきましては、度重なる地震により災害損失31億円、事業構造改革の一環として引き続き人材の流動化を推進したことによる特別退職金16億円などを計上した結果、前年同期の115億円の損失に対し105億円の損失となりました。

## セグメント別概況

---

### 情 報

IT市況の低迷、公共投資の抑制、デフレ経済下での競争激化という状況は引き続いておりますが、新紙幣対応ATMの需要増加やカラープリンタの販売好調もあり、外部顧客向け連結売上高は前中間期比12.8%増の1,516億円となりました。営業損益につきましては、事業の再構築による大幅な固定費削減、調達コストの削減などにより前中間期の35億円の利益に対し51億円の利益と改善いたしました。

### 通 信

通信キャリアにつきましてはIP電話やブロードバンド関連の投資に回復が見られ、民間設備投資につきましても一部に回復の兆しがあらわれており、外部顧客向け連結売上高は前中間期比17.7%増の445億円となりました。営業損益につきましては、事業の再構築による大幅な固定費削減もあいまって前中間期の71億円の損失に対し16億円の損失と改善いたしました。

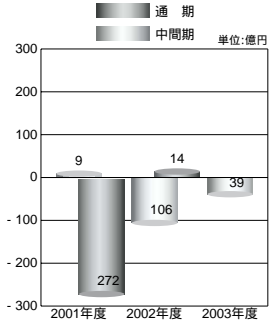
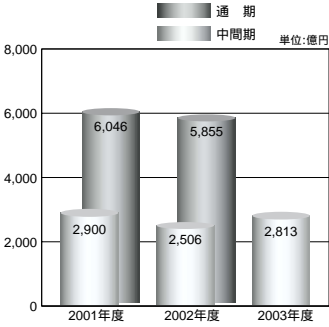
### 電子デバイス

当社の得意とする「パーソナル&モバイル」市場向け商品である携帯電話用音源LSI、大型液晶ディスプレイ用ドライバLSI等が堅調に推移いたしました。地震による宮城工場生産ラインの一時的停止が生じたため、外部顧客向け連結売上高は前中間期比2.6%増の600億円に止まりました。営業損益につきましては、前中間期の17億円の損失に対し21億円の損失となりました。

(表示単位未満四捨五入)

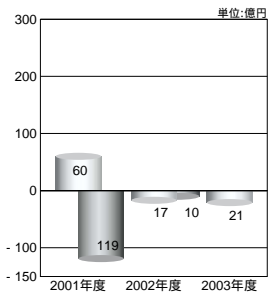
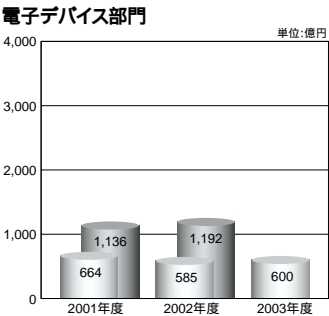
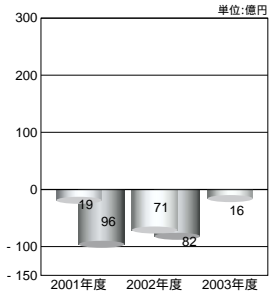
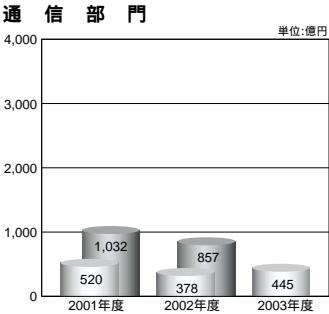
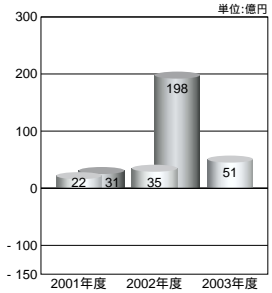
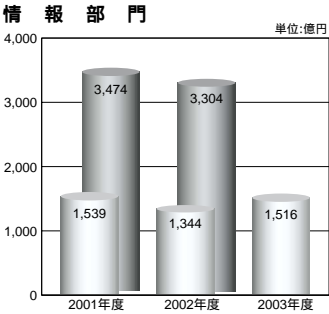
## 売上高

## 営業利益



## 外部顧客向売上高

## 営業利益



(注) 上記セグメントに含まれない、その他セグメントがあります。